

第5回京都市都市緑化審議会 摘録

1 開催日時

平成27年10月30日(金)午後3時~午後5時

2 開催場所

京都市役所 寺町第2会議室

3 出席者(敬称略)

委員9人(4名欠席)

会長 森本幸裕

副会長 槇村 久子

委員 井田 典子

委員 植野 裕代 (欠席)

委員 江坂 幸典

委員 櫻井 貞子 (欠席)

委員 田中 良明 (欠席)

委員 中嶋 節子

委員 中村 伸之

委員 西村 良子

委員 松谷 茂 (欠席)

委員 山内 康敬

委員 吉野 祐

4 次第

開会

会長あいさつ

議題

第2次京(みやこ)のみどり推進プランの策定について (資料A)

その他

閉会

5 会議録

資料A 第2次京（みやこ）のみどり推進プランの策定について

プラン全体

[ご意見]

- ・京都全体がこうなる，というイメージがほしい。
- ・着実に実行できるよう，リアリティのあるものに仕上げしてほしい。
- ・具体的なイメージができる言葉を盛り込んでほしい（P4「世界一美しい」はわかりにくい）。
- ・オリンピックイヤーも視野に入れたスケジュールを考えるべき。
- ・ポイントをしばってメリハリをつけては。
- ・長いスパンよりも5年で実現可能なものを挙げるのが重要

[事務局]

- ・まちなかのイメージ図（基本計画 P37）を地域ごとに合った見せ方にできるよう検討する。

2. 第2次推進プランにおける取組概要

2 - 1 第2次推進プランの主要施策

[ご意見]

- ・主要施策の目標設定は，市民の方がわかりやすい指標に設定する必要がある。
- ・主要施策の形容詞も表現するため，数値目標も上げつつ事例も書いておいてはどうか。

[事務局]

- ・アウトプットではなくアウトカム指標が必要と考えている。

(1) 緑の機能の複合化・高度化による特色ある緑化・公園づくり

[ご意見]

- ・京都造園建設業協会では，安全安心のため街灯を邪魔している樹木の適正な維持管理を考えている。
- ・京都らしく和の公園にリニューアルしてはどうか。
- ・外国の方が見ても「さすが京都の公園だ」というものにしてほしい。
- ・場所のストーリー性のある公園にすることは，お金をかけずできるのではないか。
- ・5年あればモデルケースができる。
- ・京都に来られた方達が，公共の部分やぶらりと入ったところでも「何か違うな」と思ってもらえるような工夫が必要
- ・主要施策には出ているが，推進プロジェクトには出てきていないので，工夫を。

2 - 2 主要施策を具体化する推進プロジェクト

(2) 北部・山間地活性化推進プロジェクト

ア 京北地域の活性化

[ご意見]

- ・京北の取組は素晴らしいが、広報宣伝はどうしているのか。

[事務局]

- ・京北の情報発信は右京区が行っているが、我々でも必要と考える。

イ 大見公園の利活用等

[ご意見]

- ・大原野の森林公園でノアの方舟公式で絶滅危惧種が再生しているので、大見公園でも検討してほしい。
- ・山でポテンシャルのあるところを守ってほしい。
- ・公園は人が管理できるので鹿が来ないため、パッチディフェンスの展開を望む。
- ・避難場所にする考え方もある。
- ・K E Sの事業地で里親的取組などできないか。(京都駅ビル緑水歩廊の事例)

[事務局]

- ・大見公園の利活用はまだ具体的にできていない。

(3) 歴史的景観保全再生プロジェクト

[ご意見]

- ・景観重要樹木では、庁内ワーキングを行っている聞いた。
- ・京北の桜は、観光資源として活用する中で保存につながるのでは。

[事務局]

- ・景観重要樹木については、担当課からも施策的打ち出しが出来ていないと聞いている。
- ・区民の誇りの木や京北の桜100選も含めて、保存樹のバックアップやリストの管理を継続して行う。

(5) 多世代共生による地域活力創造プロジェクト

イ 未来を託すすべての子どもたちが健やかで心豊かに育まれるまちづくり

[ご意見]

- ・地域の人が公園を活用している事例もある。愛着もわき、安心感がある。
- ・宝が池プレイパークで子供達を指導しながら自然と触れ合うシステムがある。
- ・国家戦略特区などの活用ができないか。
- ・この先に健康長寿((5)ア)がある。
- ・スペインで大人も子供も集まる公園があった。(5)アと(5)イも一緒に考えられる。

- ・リニューアルできる公園があるのであれば、新たなコンセプトで京都発のものもやってみてはどうか。
- ・全国に先駆けた京都らしいものをモデル的にでもやってほしい。
- ・ちびっこ広場や地蔵盆など、小さくてもコミュニティにつながるものを展開する。

[事務局]

- ・公園に保育所を設置するだけでなく、活動もセットに考える必要がある。
- ・公園の使用については、地域のコミュニティと連動している気がする。
- ・花から始まるコミュニティが、地域の安心安全につながるコミュニティに繋がればと考える。

(7) まちなか緑化推進プロジェクト

[ご意見]

- ・見えることより記憶に残ることが大切である。
- ・質の高いシンボリックなものが記憶に残る。
- ・京都らしいと言えば和の花ではないか。技術的センスのあるものを増やしてほしい。
- ・環境創造型緑化(資料5)の P8)のように、企業に対するインセンティブがある先進型、21世紀型緑化を。
- ・技術的センスと学術的意味のあるものが記憶に残るのではないか。
- ・まちなか緑化や民有地緑化が進めば、緑被率の向上につながりそうなので、より効果的に実施を。

[事務局]

- ・第2次プランでは民有地緑化をメインに取り組む予定。

ア 市街地における民有地緑化の促進

[ご意見]

- ・今の助成制度は使いにくい。
- ・K E S 事業者が参加できる活動を増やすなどしてはどうか。

[事務局]

- ・助成金は、地域に波及効果があるなど、目に見える効果があるものにしたい。

[ご意見]

- ・京町家や四条通りに可動式で緋扇などがあると、同じ助成金でも生垣より良いと思う。
- ・京都のまちなかに、生け花や和の植物があれば、雰囲気も良くインバウンドにも良い。
- ・新たなストーリー展開がほしい。
- ・御池通では時代祭の後一時的にフジバカマもおかれ、アサギマダラが飛んできた。
- ・花だけでなく、まちなかに蝶も来たのは成果。取組にストーリーがあると参加しようと

思い，そこから運動に変わっていく。

- ・京都の場合は文化が不可欠。チマキザサなど京都らしい話につなげてほしい。

[事務局]

- ・御池通のスポンサー花壇でもヒオウギを植栽した。そこから，まちなかに広げていく。

[ご意見]

- ・新たな緑化助成制度の内容は決まっているのか。

[事務局]

- ・まだイメージの段階。
- ・通り単位，町内単位，エコ学区などの取組を前に進めるためのものにしたい。

[ご意見]

- ・植木ではなく，町家の前に生けるなどしたものを京都市でも応援してほしい。
- ・季節の花はなくなるから印象に残る。草花に力を入れてはどうか。

[事務局]

- ・これまでは一年草を対象にしていなかったので，ご意見があれば検討する。

イ モデル地区における民有地緑化の促進

[ご意見]

- ・K E S 事業者が社有地を和の花や緑化に配慮した事例もある。
- ・民有地緑化は，文化価値をつけて実施している。

ウ まちかど緑化おもてなしプロジェクト

[ご意見]

- ・佐川急便は中京区の配送センターにヒオウギを扱っているが，このような事例を取り上げられないか。
- ・寺町通（中京区）で自主的に2日間フジバカマの展示があった。市が少しインセンティブをつければ進行するのではないか。

（8）緑による防災・減災プロジェクト

イ 減災機能の効果を高める緑化施設の整備

[ご意見]

- ・難しくても，国交省の100mm/h 安心プランに近づけていくのはどうか。

[事務局]

- ・現在1/10年値を達成するために苦戦している。
浸水対策として，雨水整備の目標となる降雨を5年に1回降る確率の大雨（52mm /

時) から 10 年に 1 回降る確率の大雨 (62mm / 時) まで引き上げた。

(9) 市民共汗型緑化活動推進プロジェクト

(9) - 1 市民との共汗による質の高い公共空間 (道路・公園等) づくり

ウ 高度情報システムを駆使した市民共汗による質の高い行政サービスの提供

[ご意見]

- ・ G P S やスマホで市民の参加も考えられる。
- ・行政サービスを提供するだけでなく、行政側に情報を提供してもらうしくみを。
- ・環境管理課が地元探偵団など、進んだ取組をしている。

(9) - 2 住民主体の緑化活動を支える「緑の担い手」の育成・支援

ア 緑のボランティアセンター (仮称) の活用による「緑の担い手」の育成等

[ご意見]

- ・学校などで屋上緑化をしているが、浸透していない。
- ・マンションの屋上も協力してもらえるように。
- ・市民の協力を得るため、どうやって周知するのか重点的に取り組んだほうがよい。
- ・既に地域で取り組んでいるところに割り込んでどうか。
- ・ヤル気のある人がすぐできるようなノウハウ提供も大事。
- ・ボランティアセンターはかなり前からある話なので推進を。

[事務局]

- ・交流や情報を挙げるだけでなく、継続的にみんなが知っている状態に。

[ご意見]

- ・担い手の維持のため、子供の教育の提案を。

[事務局]

- ・子どもの教育の話は、(5) イに積極的な意味を付与して入れると良いのでは。

ウ 事業者 (造園関連企業) との連携強化による緑の担い手の育成

[ご意見]

- ・どこの造園業者に相談したらよいかわからないので、京都市ホームページにリストを。
- ・みどりのコンシェルジュをボランティアベースで配置することは難しい。
- ・京都造園建設業協会会員は全員 K E S を取得。協会を通してでも気軽に相談できれば。

[事務局]

- ・京都造園建設業協会にもお力添え頂いて肉付けを。

オ 優れた緑化活動事例の収集・発信

[ご意見]

- ・まちなか緑化をフォーカスするなら，まちなかで何かしかけはできないか。
- ・日を決めてオープンガーデンなど。(京北の事例)
- ・単独でやると大変だが，人が集まるイベントなどでできないか。(三条商店街の事例)
- ・町内単位で，その日は植物名をつけた通りにするとか。
- ・そういう取り組みをネットワークするボランティアセンターに。
- ・補助金だけがインセンティブではない。
- ・御池フェスタなど，地元が手を挙げてイベントする時に供給する体制ができていれば。
- ・まちなかの交通問題とあわせて，地元が活動する時にフジバカマを貸すなど，ヤル気ある人に貸し出すしくみがあればいいのではないか。
- ・生産体制も必要である。

[事務局]

- ・御池通でオープンカフェを実施していたが，歩道が狭いなどの理由でできなくなった。